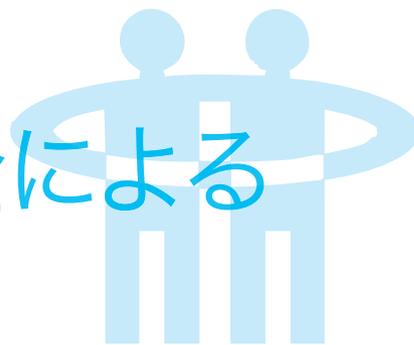


東日本大震災義援金による 支援先決定のご報告



日本糖尿病協会は、日本糖尿病学会の協力のもと、東日本大震災で被害を受けた糖尿病患者さんを支援するための義援金を2011年3月から6月末日まで募集いたしました。その間、皆様から寄せられた義援金は、約200件、1500万円余りに上りました。ありがとうございました。

皆様のご意思に添ってこの義援金を有効に配分するため、東北地区の日本糖尿病学会・日本糖尿病協会の理事や役員による検討委員会が組織され、「義援金運用基準」※を策定しました。そして、同年5月から6月にかけて、岩手県、宮城県、福島県の医療機関の被災状況の調査を行いました。

このほど、調査結果がまとまり、基幹病院の診療環境の復旧を目的とする義援金による支援として、運用基準にのっとり、特に被害が大きかった次の医療機関に、糖尿病治療用の検査機材や血糖自己測定器などを寄贈することになりました。各医療機関には、同年7月下旬～8月下旬にかけて機器が納入されます。

〈3県に対する義援金配分〉

	医療機関	希望機材など	支援金額
岩手県	県立山田病院	ヘモグロビンA1c測定装置	2,000,000円
	県立大槌病院	ヘモグロビンA1c測定装置 ABI測定装置	2,000,000円
	県立高田病院	尿分析装置	2,000,000円
宮城県	南三陸診療所 (公立志津川病院)	ヘモグロビンA1c測定装置	4,250,000円
福島県	太田西ノ内病院	フードモデル	250,000円
	総合磐城共立病院	血糖自己測定器30台	600,000円
	たねだ内科クリニック	血糖自己測定器25台	500,000円
	竹田総合病院	血糖自己測定器20台	400,000円
	相馬中央病院	インスリンポンプ1台	500,000円
			計12,500,000円

このほか、多くの医療機関から要望のあった糖尿病教育資材は、別途現物を提供する予定です。また、今回は緊急性の高い医療機関を優先して行いましたが、今後の復興状況(段階)に応じて残りの義援金を支援金として支出することにしています。

※「義援金運用基準」(抜粋)

1. 義援金運用の原則

- 1) 被災県を岩手県、宮城県、福島県とする。福島県は、福島第一原発事故による被災により糖尿病患者が分散しているため、広範囲に拠点病院を選び、支援する。
- 2) 被災の状況が県ごとに異なるため、それぞれの要請を調査し、検討する。

2. 支援内容

- 1) 被災病院や拠点病院が糖尿病診療に必要な医療器具など。
- 2) 糖尿病患者教育、指導に必要な資料。